



№1063
発行
2022年
3月8日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
清野 聡
編集責任者
教 宣 部

当面する取り組み進めよう



拡大地方委員会を 文書審議に

第5回地本執行委員会を2月19日に開催し当面する行動について議論しました。

新潟県はコロナ感染拡大で、まん延防止重点措置が3月6日までとなり、第128回拡大地方委員会の開催を文書審議にしました。そして、3月7日の地本・春闘行動についても中止としました。

6000円の要求獲得！



春闘要求6000円

第192回拡大中央委員会で春闘要求6000円と具体的な要求が決定しました。

春闘行動を企画しましたが当面はコロナの感染状況を考えながら判断せざるをえません。

中央では2月25日に国労春闘中央総決起集会が開催されました。新潟地本はリモートで2名参加しました。

第93回メーデー開催

5月1日(日)

第93回メーデー新潟県中央集会

●会場は、新潟市中央区
ユニオンプラザ1階
多目的ホール の予定です

●開場は9時00分
集会 9時30分～10時15分
デモ 10時30分～11時15分



エリア本部委員会 文書審議に

国労東日本本部・拡大委員会が2月11日に文書審議で行われました。

11名の委員から発言が寄せられました。発言内容は組織拡大、職場の労働条件改善、グループ会社の問題点、そして会社が提案した柔軟な働き方についての問題点など多くありました。



コロナ禍 何ができるのか議論

発言内容では、列車の自動運転の導入やワンマン運転、駅員の合理化など厳しい状況などの報告でした。

そして最重要課題である組織拡大については、コロナ禍で厳しい状況ですが、何ができるのか全体で議論し取り組みを進め国労加入した報告がありました。

新潟地本も、組織強化・拡大対策会議を開催し、全体で何ができるのか議論し取り組みを進めていきます。

編集後記

3月に入りました。2月は、あっという間に過ぎたように感じます。

今シーズンは大雪で魚沼方面は最高で4メートルを超える積雪になりました。

魚沼方面、津南町は天候が良く晴れて28日現在の積雪は3メートル20センチくらいで1メートル少なくなりました。



津南で雪虫を見たこと・地元の人々は春の訪れかなと話していたそうです。

雪虫を調べました。体調は5mm前後で全身綿で包まれたように見えるアブラムシです。

飛び方は雪のように、ふあふあど飛ぶので雪と間違えてしまうこともあります。

冬の使者と呼ばれている。雪虫は春に卵からメスの幼虫が生まれ5月に成虫になり、そのメスが単独で子供を作り増えています。

成虫になった雪虫は、10月頃に飛び回ってオスとメスが出会い成虫を生みます。



春闘は統一闘争で 全力を上げる

2022春闘勝利・国労中央総決起集会が2月25日13時30分より新橋交通ビルで開催しました。
木村副委員長の開会あいさつでスタートしました。

国労本部 松川委員長あいさつ

国労本部・松川委員長のあいさつでは、最初に ロシアがウクライナに侵攻した。国労としてロシアの武力による侵攻に反対していく。明らかに人の命が奪われていくことに反対することを明らかにしていく。

コロナ感染拡大で、まん延防止重点措置が出されている中、リモートで多くの組合員が参加している。



第93回メーデーについて

●元祖5・1にいがたメーデー実行委員会

全港湾新潟や新潟地区労会議・自治労・全国一般（連合加盟組織）など毎年5月1日にメーデーを実施してきた「元祖5・1にいがたメーデー実行委員会」と、全港湾を通じて1月28日、県労連と「総がかりメーデー」の再開をめざし意見交換を実施しました。

●9条改憲NO！を高く掲げる

●「市民と野党の共闘」を推進する

「総がかりメーデー」をめざす。感染拡大で中断を強いられている「総がかりメーデー」の再開をめざす。元祖にいがたメーデー実行委員会と第93回メーデー県中央集会実行委員会（県労連）の二つの実行委員会共同で労働戦線の枠を超えた共闘による、労働分野での「市民と野党の共闘」を推進する。

●県知事選・参議院選勝利を高く掲げる



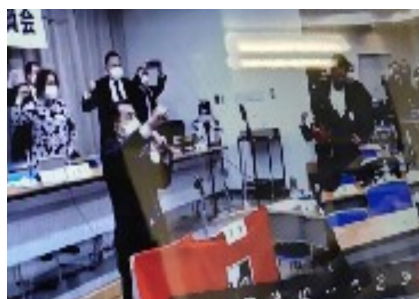
2・25総決起集会は全国の組合員の参加で取り組まれている。
春闘は、コロナ感染拡大で賃金が上がらない、企業によって収支に大きく差が出ている。
JR各社は2年連続の赤字となっている。業績のばらつきがある。

拡大中央委員会で決定、国労の春闘は統一闘争で全力を上げる。そしてローカル線の問題、厳しい収支となっている。
JR北海道は財政的に大きな負担となっている。バス転換へ動いている。



JR各社はコロナ対策が出されているが安全軽視、労働条件の切り下げなど、さまざまな問題に対して春闘で闘っていく。

組織拡大について、国労組織を増やしていく、拡大目標は地本1名で全国で50名の拡大を目指す。
今、何ができるのか真剣に考えていく。組織拡大は国労運動を継承していくため、労働組合として必要性を訴えていく。



4月、新採に対しての国労加入を取り組む。国労組合員、ひとり一人が決起することを訴える。
その後、各地方代表者から決意表明がありました。最後に木村青年部長の団結がんばろう！でさらに団結を固めました。

地本からはリモートで2名参加し退職者組合から2名の参加がありました。



編集後記・その2

●新潟県は3月7日、「まん延防止重点措置」が解除になりました。感染者数は少しずつ減少傾向にありますが完全に収束状況にはなっていません。まだ油断はできませんね。

3月に入ってから冬型が続き今日の朝、雪が降りました。なかなか暖かくなりません。今週後半から気温が上がるらしいです。
これから春本番、楽しみです。

